

平成29年9月6日

日向市議会 議長 甲斐 敏彦 様

提出者 日向市議会議員

賛成者 日向市議会議員

〃

〃

〃

〃

〃

〃

谷口美春
黒木万治
梅田公和
木田吉信
西村豪司
富井寿一
岩川 玲
海野碧生

議案提出書

下記の議案を別紙のとおり、地方自治法第99条及び会議規則第14条の規定により提出します。

記

議員提出議案第1号 核兵器禁止条約への参加を求める意見書（案）



核兵器禁止条約への参加を求める意見書（案）

7月7日に行われた「国連会議」は、人類史上初めて核兵器を違法化する核兵器禁止条約を、国連加盟国の3分の2である122カ国の賛成で採択した。これは日本の被爆者（団体）はもとより、核兵器のない世界を願い、その実現のために声をあげ、運動を大きく発展させた多数の諸国民の努力が実らせた歴史的な壮挙と言える。

この禁止条約は、核兵器の非人道性を告発し、文字どおり核兵器を全面的に禁止する内容となっているが、この歴史的条約を力に、核兵器廃絶を実現するための前進が求められており、「ヒバクシャ署名」の取り組みをさらに強め、核保有国と同盟国の条約参加を求めていくことがより重要となっている。

こうした中で、唯一の戦争被爆国である日本政府が会議に参加せず、「署名、批准を行う考えはない」という姿勢を示していることは容認できるものではない。

よって、日本政府が従来立場を抜本的に再検討し、核兵器禁止条約への参加を真剣に検討することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年9月15日

宮崎県日向市議会議員 甲斐敏彦